

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

2019.12
号外
extra news



Contents

- 01 全国高専体育大会
- 04 高専ロボコン2019
- 05 全国高専プロコン
- 06 大会結果一覧

今号のテーマ

高専体育大会! ロボコン! プロコン!

- 八代キャンパスバスケットボール部女子 地区大会初優勝
- 八代キャンパスバドミントン部 森本さん 女子シングルスで全国優勝(3連覇)!
- 八代キャンパス弓道部 瀬崎さん 個人の部で地区大会優勝

全国高専大会に 出場して

人間情報システム工学科3年

坂井亮介(陸上部)

私は今年広島で開催された全国高専大会陸上競技に参加しました。今年で3年連続となる出場ですが過去2年間自分のベストを出すことができず悔しい思いでした。

また今年には雨などの影響で1カ月ポールを使った練習ができず不安でいっぱいでした。

しかし、いざ競技が始まると流れをつかむことができ、ベスト



トを尽くせたと考える試技をすることができ、3m80cmで過去最高の6位入賞を果たすことができました。

試技では3m90cmをパスして4mに挑みましたが失敗してしまつたのでそれがとても悔しかったです。また自分の力にあつたポールを使えなかつたりしてしまつたので、秋季記録会までには使えるようにしたいと思います。

応援してくれた仲間や顧問の先生方、両親に感謝し、今後もよい結果を残せるよう頑張るの応援よろしく願います！

みんなでも拵んだ 全国制覇

生物化学システム工学科5年

森本暁音(バドミントン部)

8月31日、9月1日に山口県周南市で全国高専大会がありました。私達は、男子・女子共に九州高専大会を1位で通過し、団体戦に出場しました。夏の暑い日や厳しいトレーニングも、5年生を中心に励まし合いながらも毎日休まず練習に取り組みました。当日は、試合が進むにつれて相手にリードを奪われる展開が多くなり、厳しい試合が続きました。しかし、個人個人の努力とチーム力が大事な場面で発揮され、男子団体は3位、女子団体は優勝という大きな目標を達成することができました。私自身も個人戦で、ダブルス・シングルスに出場しどちらも優勝することができたので、全国大会三冠という最高の形で、高専でのバドミントン生活を終えることがで



きました。

5年間高専でバドミントン部として活動し、きつい時もあつたけど、それ以上に楽しくて幸せな時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

高専弓道大会を終えて

生物化学システム工学科4年
瀬崎華芳(弓道部)



私たち弓道部は、夏休みに三重県で開催された全国高専弓道大会に出場しました。

女子団体は一位タイで予選を通過準決勝では同中競射を勝ち取り、決勝に進みました。相手は一昨年決勝で敗れた豊田高専でした。リベンジを果すつもりで挑みましたが、同中競射の末一本差で敗れ、金色のメダルはまた一年後にお預けとなりました。去年は予選敗退で悔しい思いをしたので、その屈辱を晴らすことができました。しかし私たちは九州大会でも全国大会でも準優勝止まりなので、高専生活最後の来年こそは全国優勝したいです。特に今年の九州大会で

は、ここでという時に中てることができず優勝を逃したので、どんな状況でも中てられるよう一年間練習に取り組んでいきたいと思えます。個人では目標だった十二射皆中で優勝し、射道優秀賞も頂きました。

今回このような結果を得られたのも、顧問の先生方や遠くまで応援に駆けつけてくれた部員のおかげです。本当にありがとうございます。



全国高専大会に参加して

制御情報システム工学科1年
大田遥葵(水泳部)

私は、予選の九州高専大会を突破して夏休みに全国高専大会に参加しました。

大会前日の会場での練習では全国の予選を勝ち抜いてきた高専生を見て、体つきが中学生などと違い大きくて少し驚きました。

大会初日の土曜日は200メートル自由形の予選と、400メートル自由形の決勝がありました。200メートル自由形は、緊張して力が発揮できず、10位で決勝には行けませんでしたが、400メートル自由形では上級生が多かったですが、200メートル自由形よりも緊張がほぐれて自分の力を発揮でき、4位になることができました。目標は達成できたのでとてもよかったです。

日曜日は、レースはなかった

ので観光をしました。広島は行ったことがなかったので、厳島神社や原爆ドームなどたくさんのところに歩いてとても楽しかったです。

この3日間は普段できない体験ができてとても充実した時間を過ごすことができたと思います。来年も出場できるように練習を頑張りたいです。



令和最初の高校総体

高専大会

生物化学システム工学科5年
 本山明香里(陸上部)

今年の八代キャンパス陸上部は、6月の県高校総体、7月の九州高専大会、8月の全国高専大会で多くの部員が活躍し、素晴らしい成果を残すことができた。特に高校総体では県大会突破者が5名と過去最多で、特に男子5000m競歩では榊大翼(3AC)が県大会、南九州大会も優勝し、全国(インターハイ)7位という輝かしい結果をおさめてくれました。八代キャンパス陸上部のインターハイ出場者は初めてです。全国高専大会では男



子総合5位、女子総合6位と男女共に躍進し表彰を受け、好成績を残すことができました。他高専と比べ部員は少ないですが、一人一人が自分の競技やチームと真摯に向き合った結果だと思っています。

この5年間陸上部を見てきましたが、少しずつチームとして強くなっていると感じます。高校生と肩を並べ表彰される選手が増え、高専大会でも総合優勝争いができるようになってきました。うちの部は長距離の選手が棒高跳びや投擲をしたり、急に混成競技や競歩にも挑戦したりすることに挑戦し、部員同士切磋琢磨しながらさらに高みを目指してほしいと思います。

全国高専大会に出場して

建築社会デザイン工学科5年
 吉塚聖如由(バスケットボール部)

私たち八代キャンパス女子バスケットボール部は、九州沖縄地区高専体育大会で初優勝し、全国高等専門学校体育大会に出場しました。

今年こそ優勝すると思気込んでいた九州沖縄地区大会では、予選から気を抜くことなく戦い、初めて歴代優勝校に「八代」という名前を残すことができました。全国大会は、一度対戦し負けたことがある明石高専との試合でした。次は負けないう気持ちで練習に励みましたが、力及ばず負けてしまいました。来年は後輩たちをもっと高い場所を輝いてくれることを期待しています。

私たちが全国大会に行けたのは、応援してくださった保護者の方々、先輩方、毎日遅くまで指導してくださったコーチ、私たちのわがままを最後まで聞いてくださった顧問の先生

方のおかげです。ありがとうございました。

最後に、これまでの5年間は決して平坦な道ではなく、いろんなことがありました。一緒に乗り越えてきた後輩、そして同級生はとて心強かったです。とても感謝しています。このチームでバスケットボールができて本当に楽しかったです。



ロボットコンテスト九州 沖縄地区大会に出場して

制御情報工学システム工学科 3年

渡邊 大(ロボコン部)

10月13日(日)、高専ロボコン2019九州沖縄地区大会が開催され、私達の熊本キャンパスからはAチーム「洗濯王」、Bチーム「挑挑蝶々」が出場しました。

今年は各リーグで勝利数が多いチームが決勝トーナメントに残るルールとなり、Aチームは予選ラウンドで、有明高専Bチームに勝利するも、鹿児島高専Bチームに敗北し、Bチームも有明高専Aチームに勝利するも、都城高専Aチームに敗北してしまいました。両チームとも1勝1敗で、リーグ戦敗退という結果で終わりました。

私は今年から部長に就任しました。今年度の成績だけを見たら、今回の結果は良くはありませんでしたが、今年の熊本キャンパスは1、2年生を中心とした、若いチームです。1、2年生が中心となつて、立派なロボットを作り上げました。今回の悪かった点、良かった点を1、2年生の代で経験することは、私達、熊本キャン

パスロボコン部にとって、これから大きく繋がる、良い経験になったと考えています。

部全体では、大会が終わった次の週から、部員達で、来年をより良くするために、大型ミーティングを開き、運営の在り方、作業の効率化などを部員全員が今ある問題を共有し理解を深めあい、チーム一丸となつて、来年の高専ロボコンに向けて、取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、顧問の先生方や技術センターの皆様、保護者や応援に来て下さったOBの皆様をはじめ、多くの方々に応援をして頂いたことを、心より感謝申し上げます。これからも皆様の協力のおかげで、宜しくお願い致します。



高専ロボコン2019 に参加して

機械知能システム工学科3年

相馬 一太(ロボコン部)

私たち八代ロボコン部は、10月13日に大分県別府市で開催された高専ロボコン2019九州沖縄地区大会にAチーム「CLOTH×CLOTH」とBチーム「洗匠」で参加しました。Aチームは会場でセンサが不調となつて初戦は勝つたものの、予選敗退となってしまいました。Bチームは安定した動きで見事に地区大会優勝を果たし、2年連続での全国大会出場を決めました！約1か月の改良修正の後、11月24日に両国国技館で行われた全国大会では、満点を2度出してベスト8に入り、技術賞を受賞することができました！

私はAチームのリーダーを務めました。約半年間チームで作り上げたロボットは全国大会に出場できるレベルのものだった

と思います。地区大会本番でも通りに動かすことができませんでしたが、悔しさと原因究明で得た知識や技術を糧に、来年は3年連続全国大会出場を目指します！応援ありがとうございました！



プログラミング コンテストに参加して

機械知能システム工学科 4年

田中大智(情報システム工学科 4年 部長)

今年度の全国高等専門学校プログラミングコンテストは宮崎県で行われました。

今回、八代キャンパスは自由部門、課題部門、競技部門と全ての部門で予選を通過し、学生13名での参加となりました。全部門の予選通過の通知を受けた時、喜びもあつたものの私は不安で仕方ありませんでした。私を含め4年生は忙しく、開発期間に長期不在になることがあらかじめ分かっており、3部門の開発を行えるだけの人員が不足していたからです。そのような厳しい状況の中でも大会に向けて精一杯努力しました。

結果として課題部門にて企業賞を受賞することが出来ました。一方、自由部門、競技部門では思うような結果を残すことは出来ませんでした。

今回の大会参加は部の長所と短所を浮き彫りにしたのものとなったと思います。大会に参加したメンバーは良い経験をし、

成長することが出来たと思います。今回の反省を受け、さらに成長したメンバーで来年度の大会に臨みたいと思います。



プログラミング コンテストに参加して

情報通信エレクトロニクス

工学科 5年

末永和大(電算部)

第30回全国高等専門学校プログラミングコンテストで、熊本キャンパスからは自由部門2チーム、課題部門1チーム、競技部門1チームの参加となりました。開発の現場は電算部から出場したチームしか把握していませんが、チームで役割を分担し、貴重な長期休暇でも開発、調整を頑張っていました。複数チームの活動は部活動では初だったのですが、よく連携できていました。

成績は、自由・課題部門で3チームとも敢闘賞の受賞となったのですが、競技部門では第4位という結果、そしてプログラミングの完成度も認めてもらい特別賞を受賞しました。去年のリベンジを果たし、とても嬉しかったです。

また、今年は研究室から自由部門の予選通過に加え、電算部から競技を含めて自由、課題と3部門全てで1チームずつ予選通過を果たすことができました。

た。低学年の参加も多く、良い刺激になったと思います。今大会の反省を活かして次でより良い結果が出せるように、今年度の残る時間も有効に活用したいと思います。



国立高等専門学校体育大会等結果一覧

第56回九州沖縄地区高専体育大会 (※3位以上および全国大会出場者を掲載)

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位	
陸上	熊本	(男子 棒高跳)坂井 亮介	2位	
		(男子 総合)	3位	
		(男子 800m)中村 遊椰	優勝	
		(男子 1500m)中村 遊椰	準優勝	
		(男子 3000mSC)森下 尚仁	3位	
	八代	(男子 4×100mR) 足立 駿斗、宮口 裕史、田端 本気	3位	
		(男子 4×400mR) 田端 本気、中村 遊椰、宮口 裕史	準優勝	
		(男子 走幅跳)宮口 裕史	優勝	
		(男子 三段跳)宮口 裕史	優勝	
		(男子 やり投)田端 本気	優勝	
		(女子 総合)	準優勝	
		(女子 100m)宮本 彩香	準優勝	
		(女子 200m)永田 真唯	準優勝	
		(女子 800m)永目 さくら	優勝	
		(女子 3000m)永目 さくら	準優勝	
		(女子 3000m)本山 明香里	4位	
		(女子 4×100mR)本山 明香里、 永田 真唯、永目 さくら、宮本 彩香	4位	
		(女子 走幅跳)永田 真唯	優勝	
		(女子 やり投)宮本 彩香	3位	
		卓球	八代	(男子 シングルス)田中 健太郎
(男子 ダブルス)寺本 一輝、田中 健太郎	3位			
(女子 シングルス)後藤 千明	3位			
(女子 ダブルス)山下 和花、後藤 千明	3位			
(女子 団体)後藤 千明、税所 星良、 末松 春花、山下 和花	準優勝			
水泳	熊本	(男子 自由形50m)木元 幹大	2位	
		(男子 自由形200m)大田 遥葵	2位	
		(男子 自由形400m)大田 遥葵	2位	
		(男子 背泳ぎ100m)森田 翔吾	3位	
		(男子 背泳ぎ200m)森田 翔吾	2位	
	八代	(男子 バタフライ100m)木元 幹大	1位	
		(男子 100m背泳ぎ)吉岡 将哉	2位	
		(男子 200m自由形)吉岡 将哉	3位	
		(男子 100m自由形)原田 蓮士	5位	
		(女子 200mリレー) 志水 千尋、麦田 友佳、淀川 紗花、進 楓	4位	
剣道	熊本	(男子 団体)富田 健日、松本 光明、 佐方 葵、田崎 練、小森 雄大、月野木 裕、 前田 壮一郎	準優勝	
		(女子 団体)穴井 日菜、 川浦 知佳、渡邊 野々香	3位	
	八代	(女子 個人)池田 真子	3位	
	バドミントン	熊本	(男子 ダブルス)松本 優大、植原 真人	3位
		八代	(男子 団体)中田 竜二、田上 梨緒、 桑原 秀明、山本 一樹、高田 真仁、 井村 文哉、新山 涼太、前田 幸輝	優勝
(男子 シングルス)高田 真仁、桑原 秀明			3位	
(女子 団体)植田 円香、小柳 七海、 宮崎 未鈴、森本 暁音、伊藤 七奈星、 竹隈 光紀、沖田 梓帆、中島 朝陽			優勝	
(女子 シングルス)森本 暁音			優勝	
(女子 シングルス)中島 朝陽			3位	
(女子 ダブルス)森本 暁音、伊藤 七奈星			優勝	

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位
柔道	八代	(男子 団体)山本 聖也、嶋本 蓮、 松岡 歩、富崎 惟斗	準優勝
		(男子 個人戦90kg級)嶋本 蓮	優勝
		(男子 個人戦90kg超級)松岡 歩	優勝
バスケット ボール	八代	(女子)吉塚 聖如由、池上 歩夢、俵 花梨、 塩谷 彩乃、大塚 初音、加藤 千晴、 佐藤 さくら、田端 萌、中川 まり、 桑畑 莉央、荒田 紗英、飯田 歩乙美	優勝
テニス	熊本	(女子 シングルス)吉田 凧沙	3位

第54回全国高等専門学校体育大会

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位
陸上	八代	(男子 棒高跳)坂井 亮介	6位
		(男子 総合)	5位
		(男子 三段跳)宮口 裕史	優勝
		(男子 走幅跳)宮口 裕史	3位
		(男子 800m)中村 遊椰	5位
		(男子 1500m)中村 遊椰	7位
		(男子 やり投)田端 本気	7位
		(女子 総合)	6位
		(女子 100m)宮本 彩香	4位
		(女子 やり投)宮本 彩香	4位
		(女子 3000m)永目 さくら	5位
		(女子 3000m)本山 明香里	8位
		(女子 200m)永田 真唯	7位
		(女子 4x100mR)本山 明香里、 永目 さくら、永田 真唯、 宮本 彩香、上田 結子	8位
		バドミントン	八代
(女子 シングルス)森本 暁音	優勝		
(女子 ダブルス)森本 暁音、伊藤 七奈星	優勝		
水泳	熊本	(男子 400m自由形)大田 遥葵	4位
	八代	(男子 100m背泳ぎ)吉岡 将哉	7位

第41回九州地区高専少林寺拳法大会

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位
少林寺拳法	八代	(単独演武 段外者の部)植原 優貴	優勝
		(単独演武 有段者式段以上の部) 福島 悠誠	優勝

第6回九州沖縄地区高専弓道大会

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位
弓道	熊本	(男子 個人)古家 理史	-
	八代	(女子 団体の部)瀬崎 華芳、 諫山 華奈、田中 彩世	準優勝
		(女子 個人の部)瀬崎 華芳	優勝

第6回全国高専弓道大会

競技名	種別	(種目名) 選手名	順位
弓道	八代	(女子 団体の部)田中 彩世、 瀬崎 華芳、諫山 華奈	準優勝
		(女子 個人の部)瀬崎 華芳	優勝

九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会等結果一覧

高専ロボコン2019九州沖縄地区大会

ロボット名・選手名		順位
八代C	Aチーム 「CLOTH×CLOTH」(クロスクロス) 相馬 一太、宅島 幸正、菅 史也	特別賞 (本田技研工業株式会社)
	Bチーム「洗匠」(センタク) 栗田 健太郎、日迫 友也、立居場 涼	優勝

高専ロボコン2019全国大会

ロボット名・選手名		順位
八代C	「洗匠」(センタク) 栗田 健太郎、日迫 友也、立居場 涼	ベスト8 技術賞

第16回 全国高等専門学校デザインコンペティション (デザコン 2019 in TOKYO)

(種目名) 作品名・選手名		順位
八代C	(空間デザイン部門) 『HOZO×HITO』 和仁 貢介、井上 真由、森高 蒼麻、 ブリヤサ チューフー	本選出場

第30回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト

(種目名) 作品名・選手名		順位
熊本C	(競技部門)『俺たちはソルバーになれない』 未永 和太、白川 高太、扇塚 和希	4位、特別賞
	(自由部門)『C C C e B - コメントで繋がる教育支援システム-』 波多野 佑哉、谷口 伶遠、市川 龍太郎、 甲斐 主陸、坂本 尊	敢闘賞
	(自由部門)『FormTube - 運動姿勢を評価するサポートシステム-』 永田 雄大、佐々 未央、釘崎 翔次、益田 麗美、 穴井 日菜	敢闘賞
八代C	(課題部門)『CHEERING - 地域マラソン応援システム-』 野口 玄、光本 智洋、阿部 将太、安達 大稀、 九谷 春人	敢闘賞
	(課題部門)『まちもりプザー - 地域で子どもを見守る防犯システム-』 鶴本 尚己、松永 俊輔、前田 風雅、 大石田 侑磨、宮田 優作	富士通企業賞 敢闘賞
	(自由部門)『Silent Recorder』 田中 大智、豊世 光希、森崎 恵司、有村 周将、 吉田 侑生	敢闘賞



熊本高専だより号外 2019.EXTRA NEWS

【発行】広報戦略室 令和元年 12月

編集後記

今までに無い暑さに苦しめられながらも一生懸命に頑張った学生諸君の夏の記録を読み返すと、底冷えのする部屋でも少し気持ちが和らぎます。また、秋から初冬にかけてのプロコン、ロボコン、デザコンと、こちらも学生諸君の健闘が光ります。課外活動を通じて学生諸君の成長した姿が頼もしく、今後も更なる人間力が涵養されることを願いつつ、令和初の号外をお届けします。

 **熊本高等専門学校**
National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

